

指導者用 初級編 (ステップ・アップ・コース)

第13回 修了式 と 模擬パーティ

1. 3ヶ月間は、13週あるのが普通であるが、だいたい1回は祭日があるので、週1回のレッスンで12回の所が多い。祭日も有料で借りられる場所を確保しているサークルは13回行っているところもある。
12回の際は、最終回をマナーと模擬ダンス・パーティとするのも良いし、13回の際は、12回目をラテンの足首とヒップ・ムーブメントや総合練習にあてて、最後は入門編の人達と一緒に模擬ダンス・パーティを楽しむのも良いと思う。
2. パーティでは、パーティ・ダンスやパーティ・ゲームも間に取り入れて、全員で楽しむことが大切。異なるクラスの人と踊ることで大切な経験をする事も出来る。踊りながら相手の方のダンスの程度をはかりながら、易しいステップから徐々に高級なフィガーに進むなども経験によってでなければ身に付かない。自分より下手な人と踊ることは、自信にも繋がるし、上手になることにも役立つ。大勢の人たちと踊るのが社交ダンスの最も基本であることを意識し、間違いやへまを恐れず、知らない人ともドンドン踊ろう。
3. ポールジョーンズ 曲の前後にマーチの様な音楽を8~16小節挿入し、各種目の音楽を入れたC.D.を用意しておく。内容は受講者用テキストにある。
4. 同じく、ヘジテーション・ワルツを学習しよう。(初めての人もいる筈)
1小節、お休みするこの踊り方は、リズム感と滑らかなムーブメントを身に付けるのに大いに役に立つ。
出来たら、前に習ったブルースとクイックステップの「クラッシュ・ダンス」も練習しておこう。ただ大きく踊るだけが「社交ダンス」ではなく、周りの人と調和して踊ることこそ真に重要なことを感じて欲しい。
5. 以上でパーティに出席できる態勢は身に着いた筈である。未だ習っていない種目は多少あっても、殆んどダンス・パーティでは困らない筈である。
パーティが楽しくなったら、他で主催するパーティに友達と誘い合わせて出席するのも良い経験になることと思う。